



制作：かながわ経済新聞

首都圏産業活性化協会会員の構成(令和5年7月25日現在総数519) ●営利法人：247(個人事業主、金融機関含む) ●教育機関29 ●団体67 ●自治体20 ●個人会員156(コディネーター含む)



トップインタビュー

株式会社ワイビーシステム 代表取締役 **吉田 英夫氏**

ワイビーシステムは、各種メッキ加工、自社オリジナル開発の低温黒色クロム(CBC)処理を手がけ、数々の特許を取得しています。メッキに代表される表面処理加工は、廃液による環境問題を抱えており、同社はメッキ工程で廃液を従来比90%削減した装置を開発・稼働させるなど、環境対策にも真面目から取り組んでいます。同社の吉田英夫社長に話を聞きました。

町工場から表面処理技術のグローバルニッチトップへ 独自技術で高収益体質を確保

小さなメッキ工場からスタート

当社は1987(昭和62)年、私が30歳のときに、M&A(合併・買収)の形で東京都東村山市の小さなメッキ工場を取得してスタートしました。父がメッキ工場に勤めており、私自身も自分の工場を持って経営をしたいと考えており、メッキ職人として経験を積んだ後に独立したのです。

創業当時は日本経済が上り調子で、「ジャパン・アズ・ナンバーワン」などと言われており、私もがむしゃらに働きました。1990年代に入り、バブル経済の崩壊や金融危機などを経験し、金融機関との取引を通じてお金の怖さを痛感するとともに、精度の高い事業計画を毎年作成することの必要性を感じました。

今振り返ると、当社の転機になったのはIT不況(2000年12月から2002年1月まで続いたITバブル崩壊による景気後退期)です。この時期に会社経営をしながら、社会人ドクターという制度を利用して、東京農工大学の大学院に通いながら、2003年に工学博士号を取得しています。

科学に裏打ちされた技術力で差別化

“町工場の社長”である私が大学院に通ったのは、自分が手がけているメッキ加工について「なぜ材料の表面に金属の薄膜がくっつくのか」という基本原理すら理解していなかったからです。このことは多くの中小企業に当てはまると考えますが、もし、その原理が分かっていたら、科学的知見を生かして同業他社と差別化できるのではないかと考えました。

私は2000年から東京農工大の大学院で学びながら、次世代表面処理技術研究に着手し、01年には同大学院との産学連携による「超臨界めっき技術」の研究について、NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)の地域コンソーシアムに採択され、助成金を得て大企業とも連携することができました。それ以来、メッキに代表される表面処理技術の高度化と、無公害化に徹底した知財戦略をもって真っ向から挑んでいます。

その後も公的な開発補助金を活用した、新技術や製品の開発や受託分析業務に取り組んでいます。こうした研究を基礎に、次世代表面処理技術の特許戦略を徹底しつつ、CBC処理、CNT複合表面処理、六価クロム抽出技術などが生まれました。



“脱下請け”目指し自社商品の開発、販売に成功

当社は研究開発の知見から自社商品の製造・販売も手がけています。具体的には経済産業省「新連携」の第1号認定事業となった、二酸化炭素消化石「消棒」シリーズです。同シリーズでは、ガラス粉碎用ハン

マーとシートベルトカッターを付けた自動車脱出用の「消棒 RESCUE」もHONDAと共同開発し、JIS規格制定や認証取得も行い国内外の自動車メーカーから純正品に指定されています。

“脱下請け”を目指す中小企業にとって、オンリーワンの自社製品を持つのは夢でしょう。ところが、ほとんどの下請け企業はメーカーになるための具体的なノウハウを持っていません。当社は大企業を含む産学のコンソーシアムを構築し、協力して開発を進めることで、製品開発の進め方について学べました。さらに国による支援制度も利用しながら、自社製品の開発・販売にこぎ着きました。



会社を存続させることが経営者の使命

創業者である私は現在67歳で、後継者へのバトンタッチを考えています。これまで、儲かる仕組みを作ることこそが、経営者として唯一の仕事だと考えてきました。実際に当社は、数々のオンリーワン技術、自社製品や知的所有権取得により、高い収益性を実現しています。

ところが、引退を意識しはじめると、別の仕事もあることに気づきました。それは、どんなことがあっても、会社を社会に残すということです。創業経営者としての理念

であるハートとマインドを伝えることが大切です。ハートは志、マインドは時代や社会のニーズを感じる力です。今後はこの理念に基づく事業承継の実現が、最大のテーマとなります。

商号 株式会社ワイビーシステム
 代表者 代表取締役 吉田 英夫
 所在地 埼玉県所沢市牛沼607-6
 従業員 28名
 創立 1987年
 ホームページ <https://www.yb-system.co.jp>

